

福島後における核不拡散の課題

京都大学 浅田正彦

1. 政策的側面

(1) 余剰プルトニウム問題

45 t の余剰プルトニウム、MOX 燃料、もんじゅ

エネ・環戦略（稼働原発ゼロと再処理の継続）、プルトニウムの蓄積、再処理中止の選択肢、直接処分の場合の立地問題、現在の日本が直面する最大の不拡散関連の課題

(2) 国際核不拡散体制への影響

原子力供給国としての日本と核不拡散、追加議定書、米国への影響
中露の原子力協定、原子力輸出の基本的な法的枠組み

2. 技術的側面（保障措置）

(1) 事故施設における保障措置

アクセスの困難性、いつどの段階で保障措置を適用するのか、非核兵器国における深刻事故、新規原子力導入国

(2) 直接処分に対する保障措置

サイクル政策修正の可能性、直接処分、線量の低下とプルトニウム鉱山の問題
日本における立地の問題、フィンランド・スウェーデン

3. 原子力安全

IAEA 閣僚会議（2011.6）、IAEA 原子力安全行動計画（2011.9）、原子力安全条約締約国特別会合（2012.8）、基本的な枠組み・発想は不変

要請によるピア・レビュー、IAEA の安全基準の非義務的性格、安全条約のピア・レビューの秘密性、日本の立場と責務

原子力賠償、アジア諸国への懲罰、日本自身の加入問題、メリットとデメリット